

第119期(平成27年3月期) 定時株主総会

平成27年6月25日
グンゼ株式会社

第119期定時株主総会

議事次第（開始時刻：午後1時）

<報告事項>

1. 第119期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人および監査役会の
第119期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

<決議事項>

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役10名選任の件
- 第3号議案 監査役2名選任の件



■第119期定時株主総会

「報告事項」

事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

I. 事業の経過及びその成果

I-1. 第119期(平成26年度) 連結業績

連結業績

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)
売上高	1,411	1,424	△13	△0.9	—	—
営業利益	30	43	△13	△29.5	2.2	3.1
経常利益	49	50	△1	△2.5	3.5	3.6
当期純利益	32	25	7	28.2	2.3	1.8



Ⅱ．事業セグメント別の概況

お手許の招集ご通知**2頁から3頁**をご参照

Ⅱ-1. <機能ソリューション事業1>

売上高 : 596億円(前期比 2.5%増)
営業利益: 33億円(前期比 28.5%減)

プラスチック

天候不順や消費低迷等により飲料用向けフィルムが苦戦

- 平板収縮フィルム
 - 飲料用フィルムは消費増税の駆け込み需要反動と消費低迷の影響で苦戦
- OPPフィルム
 - 消費増税の駆け込み需要反動と原油安による先安感で一部買い控え発生
- 複合ナイロンフィルム
 - 食品分野向け新商品が堅調
- 多層フィルム
 - 新型スマホ向け需要で上期順調も下期低迷



■飲料向け平板収縮フィルム

エンジニアリング プラスチック

OA機器の市場回復
一般産業向けフッ素製品の拡販により順調に推移

- カラー中間転写ベルト
 - 低価格機種向け商品が堅実に拡大
- フッ素樹脂チューブ
 - 円安を背景に海外ロールメーカーへの輸出が堅調
- 一般産業用途
 - 半導体用フィルターの需要変動に対応する生産体制構築



■半導体製造用フィルター資材

Ⅱ-2. <機能ソリューション事業2>

電子部品

パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネル(PCAP)やスマートフォン向け半製品・フィルムの販売低迷と価格下落により苦戦

- PCAP完成品
 - 大幅な単価下落のため苦戦
- PCAP半製品
 - 材料トラブルにより受注量出荷できず苦戦
- フィルム外販
 - 販売先の開拓不足



■パソコン向け透過型静電容量タッチパネル

メディカル

北米向けが伸長
国内販売および中国販売が順調に推移

- 国内
 - 縫合補強材は北米向けの伸長により堅調に推移
 - 骨接合材は国内及び中国市場で堅調
- 海外
 - 欧州・中東・南アでの拡販に向け販売会社を設立(2015年2月)



■縫合補強材を組み合わせた手術用自動縫合器

Ⅱ-3. <アパレル事業>

売上高 : 676億円 (前期比 4.0%減)
 営業利益: 14億円 (前期比 6.5%増)

消費増税後の消費低迷や天候不順による売上減少
 円安や海外労務費高騰による輸入商品の原価高

インナーウェア

- 事業構造改革
 - 国内子会社1社閉鎖とアセアン(タイ・ベトナム)を中心とした海外生産シフト
- 商品別販売動向
 - ベーシック(シニア)は下げ止まらず。ミドルはYGリニューアルにより増加
 - シーズンインナー、ファッションインナー苦戦
 - 「SEEK」、「KIREILABO」、「Tuche」など特長ある商品は好調



■SEEK(シーク)

レッグウェア

- トrend商品であるレギンスパンツは引き続き堅調
- 主カブランド「SABRINA」のリニューアル
- 生産効率改革とコスト削減



■レギンスパンツ(レギパン)

Ⅱ-4. <ライフクリエイイト事業>

売上高 : 145億円 (前期比 0.3%増)
営業利益 : 12億円 (前期比 8.0%減)

【不動産関連分野】

- 太陽光発電は堅調
- 「グンゼタウンセンターつかしん」は消費低迷により苦戦



■ 太陽光発電(福島県本宮市)

【スポーツクラブ分野】

- 新規会員獲得キャンペーン等により会員数を伸ばし、堅調に推移
- 新規出店に伴う初期費用の影響



■ グンゼスポーツクラブ(日曜ランの様子)

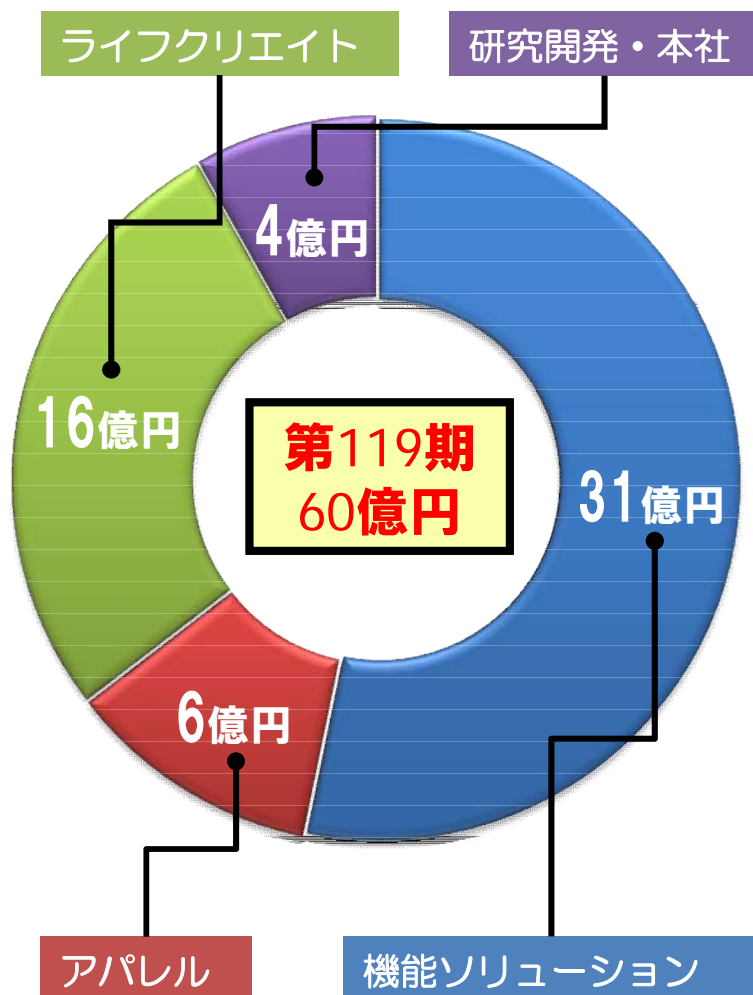
Ⅱ-5. 第119期(平成26年度)セグメント別の業績

セグメント別の対前期比較

(単位:億円 単位未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
機能ソリューション	596	582	14	33	47	△14
アパレル	676	704	△28	14	14	0
ライフクリエイト	145	144	1	12	13	△1
全社・消去	△6	△7	1	△30	△31	1
合計	1,411	1,424	△13	30	43	△13

Ⅱ-6. 設備投資の状況



■ 機能ソリューション事業 (31億円)

- 電子部品 (日本・中国・台湾生産設備)
- プラスチック (合理化設備) 他

■ アパレル事業 (6億円)

- インナー (合理化設備)

■ ライフクリエイト事業 (16億円)

- 遊休地開発他
- スポーツクラブ新店 他

■ 研究開発・本社部門 (4億円)



Ⅲ. 業務の適正を確保するための

体制の整備に関する事項

お手許の招集ご通知**14頁から17頁**をご参照

Ⅳ. 会社の支配に関する基本方針

お手許の招集ご通知**17頁から18頁**をご参照



V. 計算書類(連結)

〔 貸借対照表・損益計算書
キャッシュ・フロー計算書及び
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知**19頁から28頁**をご参照

V-1. 貸借対照表(資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
流動資産	776	735	41
固定資産	977	930	46
有形固定資産	702	687	14
無形固定資産	12	14	△2
投資その他の資産	262	228	34
資産合計	1,753	1,665	87

流動資産

776億円 (前期比 41億円増加)

現金及び預金	前期比	24億円
受取手形及び売掛金	前期比	8億円
繰延税金資産	前期比	11億円
たな卸資産	前期比	△10億円

有形固定資産

702億円 (前期比14億円増加)

機械装置及び運搬具	前期比	9億円
建設仮勘定	前期比	4億円

投資その他の資産

262億円 (前期比34億円増加)

投資有価証券	前期比	57億円
繰延税金資産	前期比	△28億円

V-2. 貸借対照表(負債の部、純資産の部)

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目		第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
負債の部	流動負債	354	325	29
	固定負債	225	198	27
	負債合計	579	523	56
純資産の部	資本金	260	260	—
	資本剰余金	140	140	△0
	利益剰余金	793	777	15
	自己株式	△76	△76	△0
	その他の包括利益累計額等	55	38	16
	純資産合計	1,173	1,141	31
負債及び純資産合計		1,753	1,665	87

負債合計

579億円 (前期比56億円増加)

長・短期借入金(CP含む) 前期比 45億円
退職給付に係る負債 前期比 17億円
設備関係支払手形 前期比 △22億円

純資産合計

1,173億円 (前期比31億円増加)

当期純利益 32億円
その他有価証券評価差額金 14億円
為替換算調整勘定 14億円
配当金の支払(118期) △14億円

V-3. 損益計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
売上高	1,411	1,424	△13
売上総利益	335	354	△19
販管費	304	310	△6
営業利益	30	43	△13
営業外損益	18	6	12
経常利益	49	50	△1
特別損益	6	△4	10
税引前当期純損益	56	46	10
法人税等及び 少数株主損益	23	21	2
当期純損益	32	25	7

営業外損益

18億円 (前期比12億円増益)

<主な内訳>

為替差益 17億円

<前期の主な内訳>

為替差益 6億円

特別損益

6億円 (前期比10億円増益)

<主な内訳>

退職給付制度改定益 12億円

固定資産除売却損 △4億円

<前期の主な内訳>

固定資産売却益 14億円

退職給付費用数理差異償却額 △8億円

事業構造改善費用 △6億円

V-4. キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円 単位未満切捨て)

科目	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	95	137	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△54	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	17	△83	100

営業活動による CF

95億円

<主な内訳>

税引前当期純利益	56億円
減価償却費	68億円
たな卸資産の減少	17億円
退職給付関連負債の減少	△21億円

投資活動による CF

△92億円

<主な内訳>

固定資産の取得	△87億円
---------	-------

財務活動による CF

17億円

<主な内訳>

CP含む借入金増加	32億円
配当金の支払	△14億円

V-5. 株主資本等変動計算書

項目	株主資本（単位：億円 単位未満切捨て）			
	資本金および 資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計
当期首残高	401	777	△ 76	1,101
会計方針の変更による累積的影響額		△ 1		△ 1
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		△ 14		△ 14
当期純利益		32		32
連結範囲の変動		△ 1		△ 1
自己株式の取得・処分	△ 0		△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の変動額（純額）				
連結会計年度中の変動額合計	△ 0	16	△ 0	16
当期末残高	401	793	△ 76	1,117

項目	その他の包括 利益累計額	新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
会計方針の変更による累積的影響額				△ 1
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 14
当期純利益				32
連結範囲の変動				△ 1
自己株式の取得・処分				△ 0
株主資本以外の項目の変動額（純額）	17	0	△ 1	16
連結会計年度中の変動額合計	17	0	△ 1	32
当期末残高	38	3	13	1,173

V-6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	第119期 (H26年度)	第118期 (H25年度)	増減
売上高営業利益率	%	2.2	3.1	△0.9
自己資本比率	%	66.0	67.5	△1.5
1株当たり純資産	円	603	586	17
ROA:総資産営業利益率	%	1.8	2.7	△0.9
ROE:自己資本当期純利益率	%	2.8	2.3	0.5

※ ROA : 営業利益 ÷ 総資産

※ ROE : 当期純利益 ÷ 株主資本



VI. 計算書類(単体)

〔 貸借対照表・損益計算書及び
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知29頁から35頁をご参照



VII. 中長期的なグループの 経営戦略と対処すべき課題

お手許の招集ご通知**4頁**をご参照

VII-1. 当社グループを取り巻く経営環境

国内経済見通し

- 消費増税の影響薄らぎ
- 個人消費をはじめ緩やかな持ち直し基調

リスク要因

- 円安による輸入商品・原材料価格などの高騰
- 中国や新興国の成長率鈍化

VII-2. 2015年度(120期)経営方針

中期経営計画

「CAN 20」(キャントウエンティ)

キーコンセプト

「集中と結集」(Focus & Concentration)

期間

2014年度(第119期)～2020年度(125期)の7ヵ年

- 第1フェーズ(2014年度～2016年度) ※2年目
- 第2フェーズ(2017年度～2020年度)

2020年経営ビジョン

Gunzeが持つ強みをさらに強化し、Gunzeにしかできない「こちよさ」をお客様に提供するグローバル企業として社会に貢献する。

2020年経営目標

人々のクオリティオブライフ(QOL)の向上に貢献する健康・医療関連分野を成長の核とするとともに、「集中と結集」によりそれぞれの分野で業界オンリーワンの地位を確立する。

VII-3. 2015年度(120期)経営方針

新規事業の拡大 クオリティ オブ ライフ (QOL) の向上

～CFAプロジェクト～

- 新規事業の創造
- 健康・医療事業拡大

※CFA：クロスファンクショナルアプローチ



■ コスメディカル

経営基盤の強化

～機能戦略～

- コア技術力の強化
- グローバル対応力の強化
- コーポレートブランド価値向上など無形資産の強化

VII-4. 2015年度(120期)経営方針

+ 25 運動

25%をキーワードに成長確保のため新規取り組みに経営資源を再配分
新たな取り組みに費やすマンパワーと時間を創出する運動

+ 25 リソース創出活動

1. 業務を従来の考え方・進め方にとらわれることなく新しいやり方に変える
2. 業務を優先順位に従って遂行する
3. 会議数・会議時間・資料等を現状から25%削減する

+ 25 新規取組活動

1. 新規事業・新商品・新チャネルのコンセプトの構築と実行
2. 新市場の探索、新規顧客訪問、開拓の強化
3. 新たな業務やチーム活動・改善活動・ATG活動(※)への積極的な取り組み

(※) ATG活動 : 明るく、楽しく、元気よくをキーワードに従業員満足度を向上させる活動

VII-5. 2015年度(120期)経営方針

◆ 機能ソリューション事業 1

■ プラスチック

米国事業など収縮フィルムの海外強化
ナイロンフィルムの収益改善

2015年度
計画

- 平板収縮フィルム
 - 欧米でのハイブリッドフィルム拡販
(2015年4月竣工の米国2号機の本格稼動)
- OPPフィルム
 - もやしや菌茸類包装向けフィルムの拡販
- 複合ナイロンフィルム
 - 食品分野向けバリアナイロンの拡販
- 多層フィルム
 - 工業用途新商品の開発・拡販



■ 平板収縮フィルム

■ エンジニアリングプラスチック

半導体関連など繊維技術活用製品の拡大

2015年度
計画

- カラー中間転写ベルト
 - 高機能機種向け転写ベルトの拡販
- フッ素樹脂チューブ
 - 新機能、新商品、新規顧客開拓に注力
- 一般産業用途
 - エンプラ繊維関連製品の用途開拓と拡充



■ 半導体製造用フィルター資材

VII-6. 2015年度(120期)経営方針

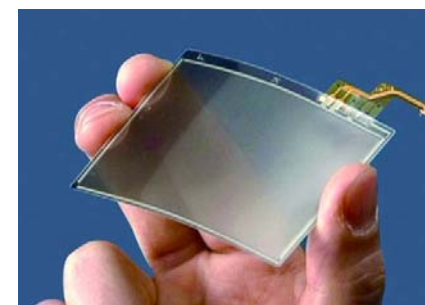
◆ 機能ソリューション事業 2

■ 電子部品

光学フィルムを含めたフィルム販売事業の
早急な事業基盤構築と拡大

2015年度
計画

- PCAP完成品
 - 車載、業務用機器市場の取り込みに注力
- PCAP半製品
 - コストダウン推進とスマホ以外の分野開拓に注力
- フィルム外販
 - OCA（光学用透明粘着材）製品群の拡販
 - タッチパネル以外の市場開拓



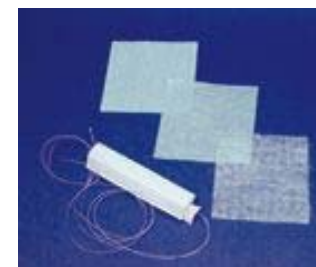
■光学フィルム

■ メディカル

縫合補強材の米国進出並びに
中国での生産基盤の確立

2015年度
計画

- 縫合補強材
 - 北米向け輸出を更に強化（営業人員の増強）
 - 新規診療科開拓による取り扱いの拡大（国内）
- 骨接合材
 - 国内での新領域代理店との取り組みによる拡販
- 中国深圳工場の本格稼動
（2015年1月竣工、出荷は下期より）



■吸収性縫合補強材

VII-7. 2015年度(120期)経営方針

◆ ア パ レ ル 事 業

全体

- 構造改革によるコストダウンへの取り組み
- 成長分野、重点販路への取り組み
- 基幹ブランドのリニューアル

■ インナーウェア分野

成長チャネルへの経営資源重点投入

- EC・直営・海外・ドラッグの拡販(アウトレット直営4店)
- シニアターゲットの「快適工房」リニューアル(2015年秋)



■ 快適工房

■ レッグウェア分野

新価値を創造するMD (マーチャン ダイジング) の推進

- 新規MD 3つの柱

ビューティ&ヘルス

ホーム

アウター

- 「日本製」商品の訴求強化によるインバウンド需要獲得



■ SABRINA

VII-8. 2015年度(120期)経営方針

◆ ライフクリエイト事業

■ 不動産関連分野

- 遊休資産の活用
(賃貸マンション等)
- 商業施設のテナント入替による活性化
(つかしん、前橋リリカ)



■ 太陽光発電(福島県本宮市)

■ スポーツクラブ分野

- 国内外での新規出店
(2015年4月現在18店舗)
- スタジオプログラムの充実



■ スポーツジム

VII-9. 2016年3月期連結業績予想

(単位:億円 単位未満切捨て)

項目	2016年3月期 (120期)連結		2015年3月期 (119期)連結		対前年	
	計画	利益率 (%)	実績	利益率 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	1,430		1,411		19	1.3
営業利益	35	2.4	30	2.2	5	13.5
経常利益	33	2.3	49	3.5	△16	△33.1
当期純利益	21	1.5	32	2.3	△11	△34.7

※ 業績予想は、現時点における事業環境等に基づいて作成したものであり、
実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

**第120期(2016年3月期)配当は、創立120周年記念配当1円を加え
1株当たり8円50銭を予定しております。**



■第119期定時株主総会

「決議事項」

お手許の招集ご通知40頁から45頁をご参照

■第1号議案（招集ご通知40頁）

◆剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

<期末配当に関する事項>

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、下記の通りとさせていただきます。

(1)配当財産の種類

金銭といたします。

(2)株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金7円50銭 総額1,436,274,698円

(3)剰余金の配当が効力を生じる日

平成27年6月26日

■第2号議案（招集ご通知41～44頁）

◆取締役10名選任の件

【取締役候補者】

候補者 番号	氏名	候補者 番号	氏名
1	児玉 和	6	鈴木 昌和
2	服部 和徳	7	古川 知己
3	廣地 厚	8	赤瀬 康宏
4	天野 勝介	9	岡 修也
5	白井 文	10	佐口 敏康

（注）天野 勝介、白井 文の両氏は、社外取締役の候補者です。

■第3号議案（招集ご通知45頁）

◆監査役2名選任の件

【監査役候補者】

候補者 番号	氏名
1	井上圭吾
2	鈴木良夫

（注）両氏は社外監査役の候補者です。